

幼保小の



架け橋プログラム だより

令和7年1月16日 Vol.37



このお便りは、横浜市の「架け橋プログラム」の一環として発行しています。
架け橋期の保育・教育の充実のために、みなさんの取組に生かしてください。

大人が立場を超えて子どもたちを支える架け橋プログラム。
「外国につながる子どもたちのための支援」という視点での
幼保小連携の取組について紹介します。

「誰一人取り残さない」という視点での きめ細かな幼保小連携

日本語支援
アドバイザー
川本未央先生



「日本語指導者リーダー養成講座」の一環として、幼保小連携について考える研修会を行いました。

川本先生は鶴見小学校に在籍しながら、日本語支援拠点施設鶴見ひまわりのスタッフと連携して運営に関わっています。各校の支援や研修の講師などもしています。

【参加者の声】

幼保小連携で、子どもの安心感と学びの連続性をつくるいく大切さを実感しました。

子どもだけでなく、保護者も日本の小学校のイメージをもちにくいことが、不安を抱えることにつながります。就学時の適切な関わりに向けて、大人同士が対話を通してつながり、支援の工夫をアップデートし続けることが大切です。

R7年11月 幼保小情報交換会・研修会 @鶴見小学校



鶴見区内の園、小中、区役所から35名が参加し、それぞれの立場で大切にしたいことや、連携について語り合いました。



「母語の大切さ」「エンパワメントの視点」などについて川本先生から講義

【参加者の声】

とても参考になりました。これまで研修などでアドバイスをいただき、母語を生かした支援をするようにしています。研修したことは園全体で共有して保育に生かしています。

【参加者の声】

「困った」「助けて」を伝えられる力が大切だと思いました。そのために、子どもが安心できる環境を整えていきたいと思いました。

協議より～幼保小で共通してできる支援例

視覚支援(絵や図で示す)
の充実



保護者へ、やさしい日本語や写真などで丁寧に伝達



遊びを通して、つながり育つ
環境づくり

一人の子ども、
一人の保護者を
大切にするという
考え方で、すべて
の人の安心とハッピーにつなげ
たいと思います。



川本先生

手引き
「ようこそ横
浜の学校へ」



教育委員会事務局
日本語支援担当
横溝指導主事



～さくら教室のご案内～
R8 新1年生向けの、さくら教室を実施します。
日時: R8年 2月28日(土)3月7日(土)
場所: 日本語支援拠点施設ひまわり
詳細は各学校へお知らせしています。
ぜひご活用ください。

架け橋期
コーディネーター

● 外国につながる子どもたちの支援を関係機関や幼保小の先生方でつないでいくことは、安心な学校生活をつくる大切な環境づくりとなります。大人の連携が子どもの安心と笑顔につながります！

安心して入学を迎えるため
にやさしい日本語版



こども青少年局保育・教育支援課 幼保小連携担当

TEL: 045-671-3731 kd-youhosyo@city.yokohama.lg.jp

